

# テーマ : テーマⅠ・Ⅱ複合型

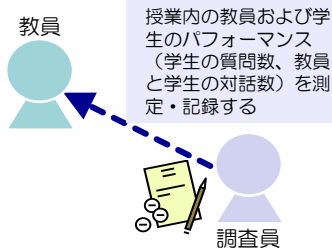
## 授業内スタッツデータおよび学生の学習行動データに基づく 深い学びと学修成果を伴った教育の実現

本事業は、教育支援センターの新設および学習支援センターの機能強化により、授業における教員と学生のパフォーマンス（学生の質問数、教員と学生の対話数、事前課題に対するフィードバック時間）を測定したスタッツデータ\*、授業外の学習時間などの学生の学習行動データ、および知識・技能・態度の3側面から把握した学修成果データの分析に基づき、教育方法や事前・事後課題の質量などの改善を図り、深い学びと学修成果を伴った教育の実現に取り組むものである。

具体的には(1)教育方法の改善 (2)教育プログラムの改善 (3)学習支援の強化 (4)学修成果の多面的把握 (5)事業成果の三方発信を行う。事業実施にあたっては、本学通信教育部門の学修成果の評価方法や提携先である湘南ベルマーレのデータ測定・分析ノウハウなど、産業能率大学のすべてのリソース（ALL産能）を投入して成果を最大化し、大学教育における先導的事例を創出する。

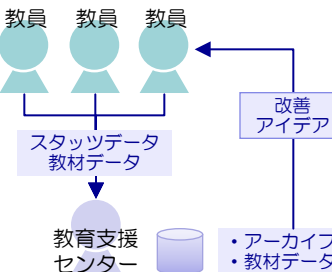
### 【1. 教育方法の改善】

これまで「聖域」とされてきた授業内の教員の行動をスタッツデータとして測定し、その分析結果に基づき各教員に授業設計・運営等に関するコンサルテーションを実施する。



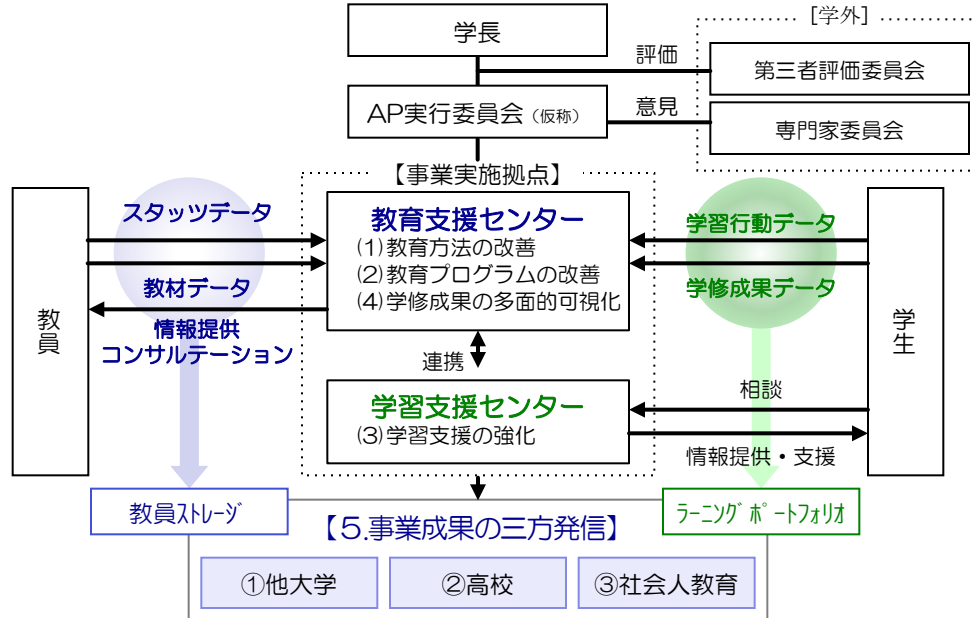
### 【2. 教育プログラムの改善】

これまでの各教員に委ねられていた授業設計等に、教育支援センターが介入し、大学全体として組織的に授業改善をはかる体制を整備する。



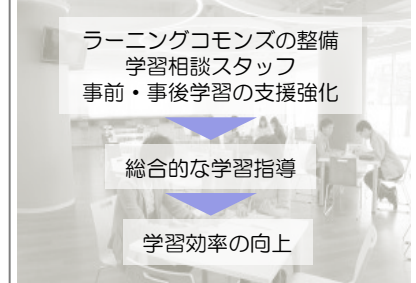
### \*スタッツデータとは？

スタッツとは、統計を意味する statistics に由来する言葉(stats)で、スポーツにおける選手のプレーやチームの成績に関する統計数値のことをいう。本事業においては、授業における教員と学生のパフォーマンス（学生の質問数、教員と学生の対話数、事前課題に対するフィードバック時間）の測定データを意味し、この分析により、教育力向上のための課題を発見し、改善を加速する。



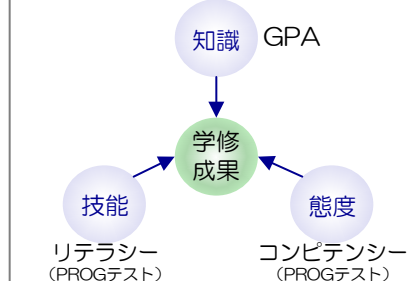
### 【3. 学習支援の強化】

教育を深い学びにつなげるため、学修支援センターが、学生の事前・事後学習を支援し、ラーニング commons を中心に学習環境整備も推進する。



### 【4. 学修成果の多面的把握】

これまでGPAに偏っていた学修成果の把握を、知識・技能・態度の3側面からの把握に改め、学生に対する総合的な学習指導を可能にする。



### ALL産能での事業実施

湘南ベルマーレ(Jリーグ), 社会人教育部門(総合研究所), 通信教育部門  
キャリアセンター, 図書館, 情報センター, 学生相談室